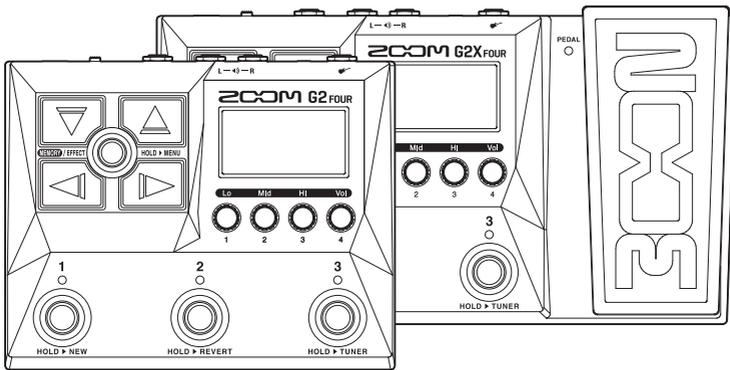


ZOOM®

G2 FOUR / G2X FOUR

EFFECTS & AMP EMULATOR



クイックツアー

より詳しい説明を記載したオペレーションマニュアルなど、製品に関するドキュメントは以下の Web サイトでご覧いただけます。



www.zoom.jp/docs/g2four_g2xfour

ご使用になる前に「安全上の注意／使用上の注意」を必ずお読みください。

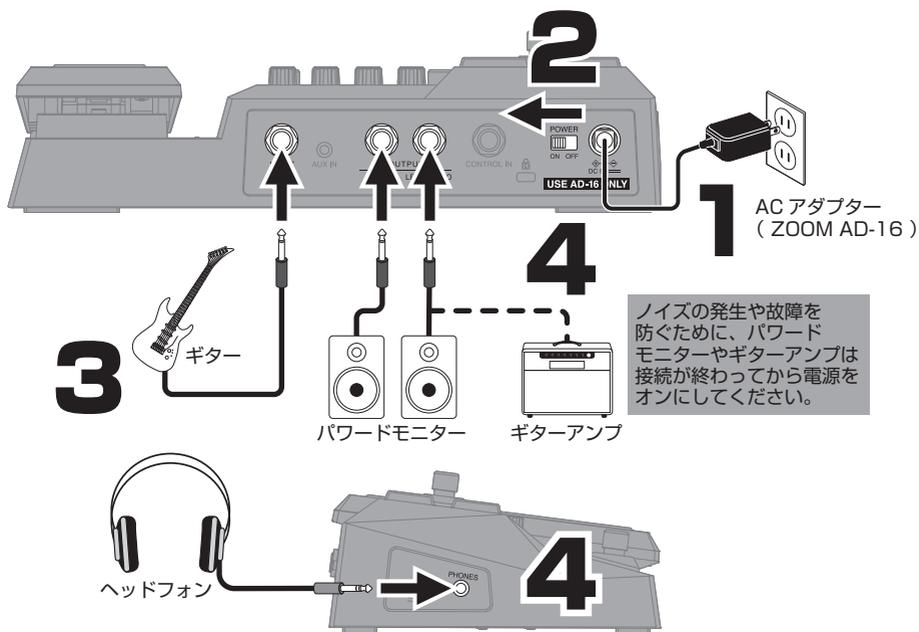
© 2022 ZOOM CORPORATION

本マニュアルの一部または全部を無断で複製／転載することを禁じます。

本マニュアルは将来必要となることがありますので、必ず参照しやすいところに保管してください。

本マニュアルの内容および製品の仕様は予告なしに変更されることがあります。

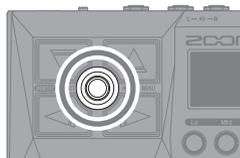
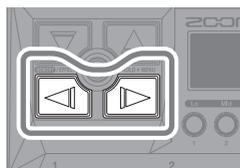
電源を入れて接続する



ノイズの発生や故障を防ぐために、パワーモニターやギターアンプは接続が終わってから電源をオンにしてください。

初期設定では ECO モードが “ON” に設定されており、操作が行われないまま 10 時間が経過すると、自動的に電源が切れます。ECO モードは “OFF” にすることもできます。

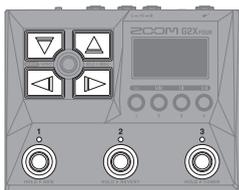
接続する出力機器を選択する



ギターアンプに接続する場合は、接続したギターアンプをクリーンサウンドにして EQ をお好みに合わせて調節してください。

MEMORY 画面を使用して演奏する

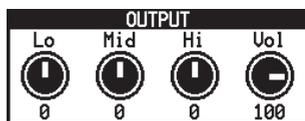
パッチメモリーとは、エフェクトの ON / OFF やパラメーターの設定値を記録したものです。エフェクトの呼び出しや保存はパッチメモリー単位で行います。



MEMORY 画面

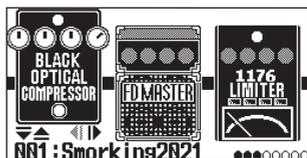
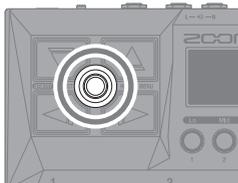
	<p>10 離れたパッチメモリーを選択します。</p>
	<p>1 つとなりのパッチメモリーを選択します。</p>
	<p>ディスプレイに表示している 3 つのパッチメモリーを直接選択します。</p>

MEMORY 画面では  で全体の音量と音質を調節できます。



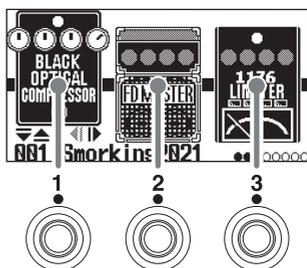
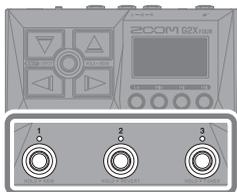
EFFECT 画面を使用して演奏する

EFFECT 画面では、パッチメモリーで使用しているエフェクトやアンプが左から順に表示されます。

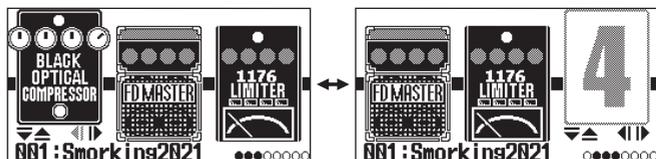
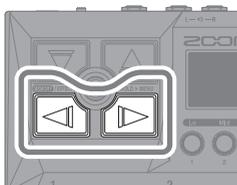


EFFECT 画面

■ エフェクトを ON / OFF する



■ 表示するエフェクトの位置を変える



: 音量やワウ効果をエクスプレッションペダルで調節できるエフェクトです。



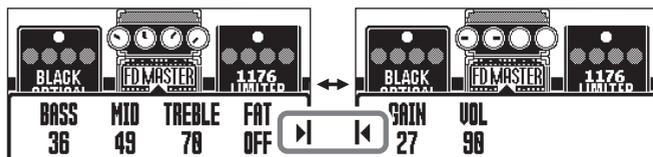
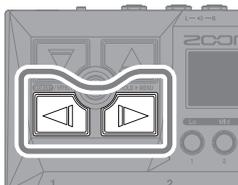
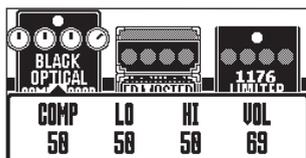
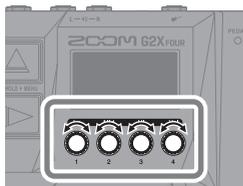
: リズム、ルーパー、ディレイ系エフェクトやモジュレーション系エフェクトで使用するテンポ (BPM : Beats Per Minute) を設定します。



1 ~ 6 : エフェクトの並び順を表します。

パッチメモリーを編集する

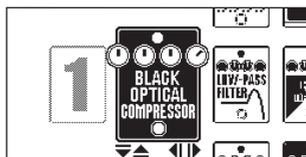
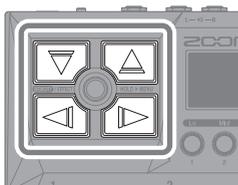
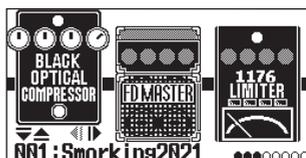
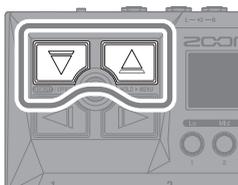
■ エフェクトを調節する



パラメーターが複数ページある時に▶ / ◀が表示されます。

■ ライブラリーの中から別のエフェクトを選択する

ライブラリー画面では選択しているエフェクトの音を単体で確認できます。



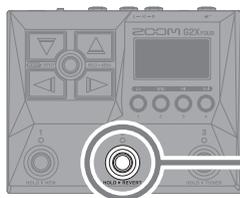
ライブラリー画面

MEMORY / EFFECT  でエフェクトを決定して EFFECT 画面に戻ります。



G2 FOUR / G2X FOUR は 7つのエフェクトを組み合わせることができますが、処理能力の限界を超えた場合は、左記のメッセージを表示します。この状態を解除するには、いずれかのエフェクトを変更してください。

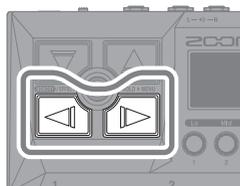
編集したパッチメモリーを元に戻す



長押し



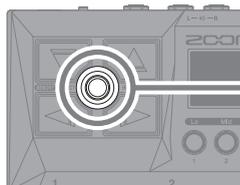
REVERT 画面



選択しているパッチメモリーを呼び出した時の状態に戻します。



選択しているパッチメモリーを工場出荷状態に戻します。

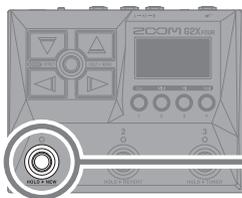


実行



初期設定ではオートセーブ機能が ON になっており、パッチメモリーの変更内容は自動的に保存されます。

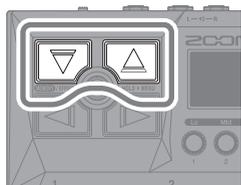
新しいパッチメモリーを作る



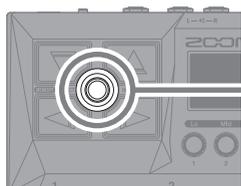
長押し



NEW 画面



保存先を
選ぶ



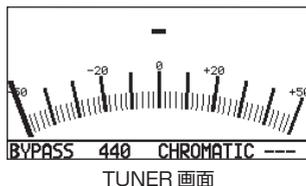
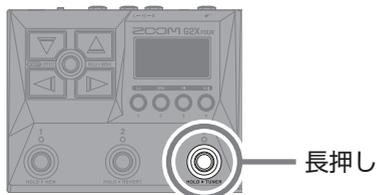
実行



ライブラリーからエフェクトを選択して
オリジナルのサウンドを作ってください。



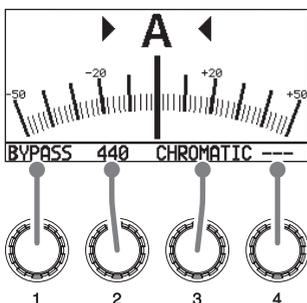
チューナーを使用する



- チューニングしたい弦を開放で鳴らしピッチを調節します。
- 最寄りの音名とピッチのズレを表示します。



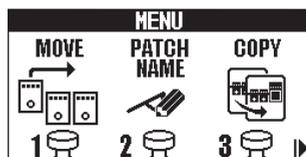
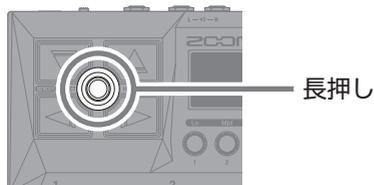
- ピッチが合うと▶◀が表示されます。



チューナーの設定は  で変更できます。

1 出力音	BYPASS / MUTE
2 基準音	430 Hz ~ 450 Hz
3 チューナータイプ	お好みのチューナータイプを選択できます。
4 フラットチューニング	すべての弦を通常のチューニングよりも半音 ($b \times 1$)、1音 ($b \times 2$)、1音半 ($b \times 3$) 下げた状態にチューニングできます。

メニューを使用できること

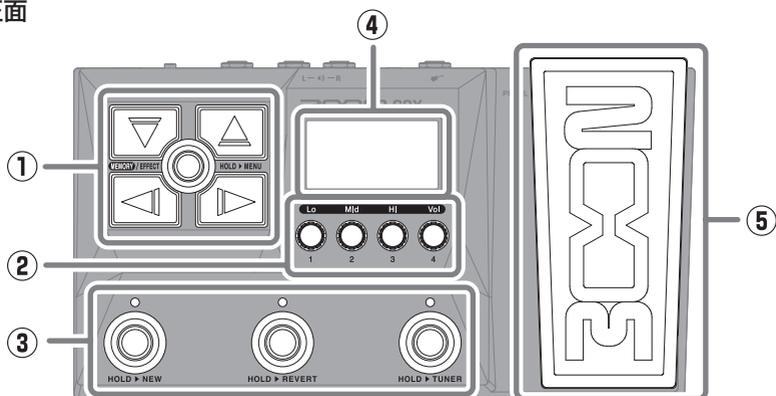


	エフェクトの並び順を変更します。
	パッチメモリー名を変更します。
	パッチメモリーをコピーして他の場所に保存します。
	パッチメモリーを消去します。
	G2 FOUR / G2X FOUR を接続する出力機器を選択します。
	オートセーブ機能の ON / OFF を設定します。
	プリセレクト機能の ON / OFF を設定します。
	ECO モードの ON / OFF を設定します。
	電源起動時の OUTPUT 設定表示を ON / OFF します。
	ディスプレイのコントラストを調節します。
	工場出荷時の設定に戻します。
	エクスプレッションペダルのキャリブレーションを行います。
	ファームウェアのバージョンを確認することができます。

各機能の詳細については、オペレーションマニュアルを参照してください。

各部の役割

■本体正面



① カーソルキー

パッチメモリーやエフェクトなどの項目を選択します。

② パラメーターノブ

エフェクトのパラメーター調節、各種設定を行います。

③ フットスイッチ

パッチメモリーの選択、エフェクトのON / OFFができます。

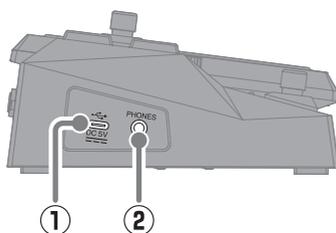
④ ディスプレイ

選択中のパッチメモリーやエフェクトの名称、パラメーターの設定値などを表示します。

⑤ エクスプレッションペダル (G2X FOURのみ)

ペダルエフェクトの効果を調節します。

■本体左側面



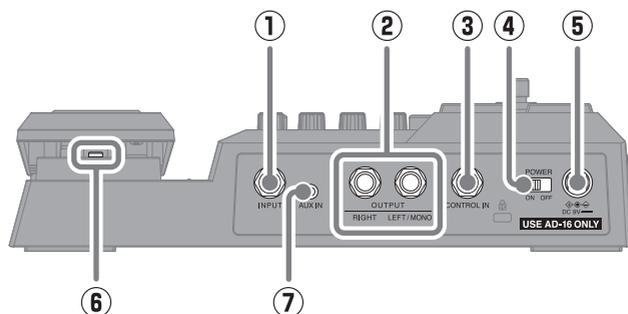
① USB (Type-C) 端子

パソコンやスマートフォン / タブレットと接続します。USBバスパワー動作に対応しています。

② PHONES 端子

ヘッドフォンを接続します。

■本体背面



- ① **入力端子**
ギターを接続します。
- ② **出力端子**
ギターアンプやモニタースピーカーを接続します。
- ③ **コントロール入力端子 (G2 FOUR のみ)**
エクスペッションペダル (ZOOM FP02M) を接続して、ペダルエフェクトの調節をします。
- ④ **電源スイッチ**
電源を ON / OFF します。
- ⑤ **DC9V AC アダプター端子**
専用の AC アダプター (ZOOM AD-16) を接続します。
- ⑥ **ペダルスイッチ (G2X FOUR のみ)**
ペダルエフェクトの ON / OFF を行います。
- ⑦ **AUX IN 端子**
携帯音楽プレーヤーなどを接続します。

その他の機能

USB AUDIO	パソコンやスマートフォン / タブレットと接続して 2IN / 2OUT のオーディオインターフェースとして使用できます。
Handy Guitar Lab for G2 FOUR	スマートフォン / タブレットを使用してパッチメモリーの管理やエフェクトの編集ができる専用アプリケーションです。

故障かなと思う前に

電源が入らない

- 電源スイッチが“ON”になっていることを確認してください。
- 接続を確認してください。

音が出ない、非常に小さい

- 接続を確認してください。
- 各エフェクトのレベルを調節してください。
- アウトプットボリュームを調節してください。
- エクスプレッションペダルで音量の調節を行っている場合は、適切な音量になるようにペダルの位置を調節してください。
- チューナーの出力設定が“MUTE”になっていないことを確認してください。

ノイズが多い

- シールドケーブルが正常であることを確認してください。
- 純正の AC アダプター (ZOOM AD-16) を使用してください。

エフェクトが選択できない

- エフェクトの処理量が制限を超えている場合、ディスプレイに“PROCESS OVERFLOW”と表示されます。“PROCESS OVERFLOW”と表示されたエフェクトはバイパス状態になります。

エクスプレッションペダルがうまく動作しない

- エクスプレッションペダルのキャリブレーションを行ってください。(G2X FOUR)
- エクスプレッションペダル (ZOOM FP02M) の接続を確認してください。(G2 FOUR)

文中の製品名、登録商標、会社名は、それぞれの会社に帰属します。

文中のすべての商標および登録商標は、それらの識別のみを目的として記載されており、各所有者の著作権を侵害する意図はありません。

ZOOM®

株式会社ズーム

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 4-4-3
zoomcorp.com